

OXIDE

株式会社オキサイド

2024年2月期第2四半期 決算補足説明資料

(6521 東証グロース)

2023年10月13日

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

決算補足説明資料に基づいて、ご説明させていただきます。

2024年2月期上半期実績

OXIDE

■ 売上高は当初予想値を下回りましたが、営業利益は上回りました。

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)		24/2期 第2四半期 (6月-8月)		24/2期 上半期 (3月-8月)		差異
	予想	実績	予想	実績	予想	実績	
売上高	1,315	1,359	2,183	1,964	3,499	3,323	▲176
営業利益	▲229	▲48	90	▲40	▲139	▲89	50
(営業利益率)	▲17.4%	▲3.6%	4.1%	▲2.1%	▲4.0%	▲2.7%	+1.3%
研究開発費	242	193	256	239	498	433	▲65
設備投資額	—	979	—	278	—	1,257	—
EBITDA※	▲122	46	345	211	222	256	34

※ EBITDA：営業利益に償却費を加えた数値

まず決算の概要です。

第2四半期よりイスラエル、ライコル社の損益計算書が連結されております。

第2四半期は、予想に対して売上高、営業利益共に計画を下回りました。

上半期でみると、予想に対して、売上高は1億7,600万円のマイナス、営業利益は約5,000万円のプラスとなりました。

なお、積極的な設備投資やM&Aに伴い、減価償却費とのれん償却費が売上高に対して10%を超える水準となっておりますので、EBITDAを投資判断に有益な情報として掲載しました。上半期につきましては、実績が2億5,600万円と予想2億2,200万円を上回りました。

【半導体】上半期実績

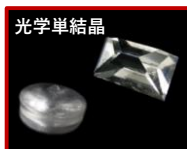
OXIDE

■ 一部部材の不具合の影響が残り、2Qは低調でした。

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)	24/2期 第2四半期 (6月-8月)	24/2期 上半期 (3月-8月)
予想	919	1,273	2,192
実績	1,017	773	1,790
(達成率)	111%	61%	82%

半導体ウエハ欠陥検査装置に用いる当社の製品群



イメージ写真：
半導体ウエハ欠陥検査装置



次に、事業ごとの現状についてご説明いたします。

半導体事業においては、昨年第3四半期以来、一部部材の不具合の影響が残り、第2四半期の売上高は低調に推移しました。

上半期の進捗率は82%でした。

<部材不具合への具体的対応>

- 不良原因の物理的メカニズムを解明
- 材料と構造を見直した改良版部材を試作中
- 重要部材のセカンドベンダーでの委託開発成功



<今後の見通し>

- 合格率の高い改良製品の入荷は4Q以降
- 3Qのレーザ売上は4Q以降にシフト
- セカンドベンダーからの製品購入を開始

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)	24/2期 第2四半期 (6月-8月)	24/2期 上半期 (3月-8月)	24/2期 第3四半期 (9月-11月)	24/2期 第4四半期 (12月-2月)	24/2期 通期 (3月-2月)
予想	919	1,273	2,192	1,342	1,443	4,978
実績 / 見通し	1,017	773	1,790	650	2,050	4,490
(達成率)	111%	61%	82%	48%	141%	90%

皆様には大変ご心配をおかけしておりました、部材不具合への具体的対応の状況をご説明いたします。

不具合の原因究明に当社が主体的に取り組み、この第2四半期において、その不良原因の物理的メカニズムを解明しました。

現在、その知見を基に、材料と構造を大幅に見直した合格率の高い改良版をベンダーで試作し、その試作品の長期信頼性評価を当社で進めております。

また、重要部材のマルチベンダー化も同時並行で進めてきましたが、セカンドベンダーでの委託開発が成功しました。

今後の見通しですが、その合格率の高い改良製品が当社に入荷する時期は、第4四半期以降となります。

このため、第3四半期は第2四半期に引続き不具合部材の影響は継続し、第3四半期に予定していたレーザの売上が第4四半期以降にシフトする見通しです。

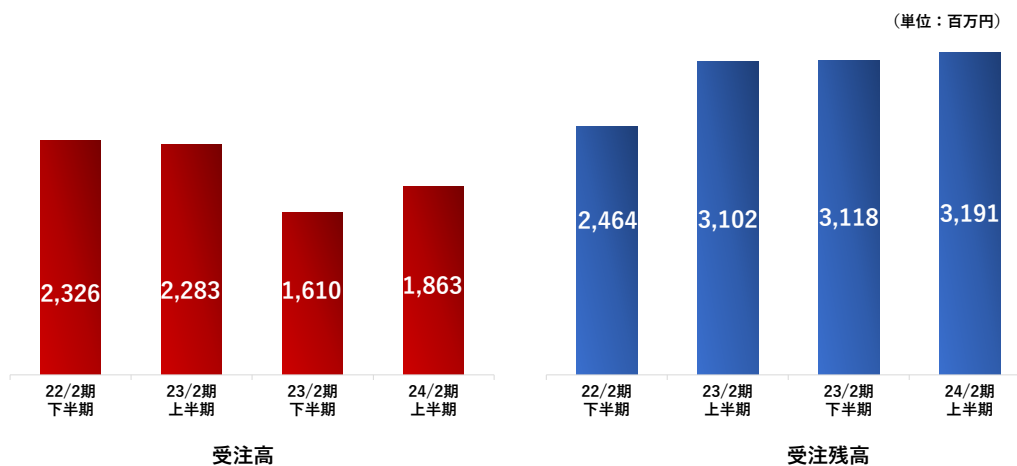
第4四半期から計画通り改良品が納入されると大幅に売上高が伸長し、通期では予想に近く見込みです。

なお、セカンドベンダーからの合格率の高い製品購入は、第4四半期以降となります。

【半導体】受注高および受注残高

OXIDE

■ 部材不具合の問題があるものの、受注高および受注残高は堅調に推移しています。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

5

半導体事業における受注高および受注残高です。

部材不具合の問題があるものの、ユーザーからの引き合いは依然強く、受注高および受注残高は堅調に推移しました。

上半期末の受注残高は約32億円となります。

【ヘルスケア】 上半期実績

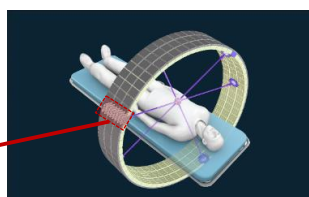
OXIDE

■ 2Qで売上が持ち直し、上半期は予想を上回りました。

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)	24/2期 第2四半期 (6月-8月)	24/2期 上半期 (3月-8月)	24/2期 第3四半期 (9月-11月)	24/2期 第4四半期 (12月-2月)	24/2期 通期 (3月-2月)
予想	296	368	664	528	527	1,721
実績 / 見通し	245	597	842	440	440	1,722
(達成率)	83%	162%	127%	83%	83%	100%

PET検査装置に用いる
当社の製品



PET検査装置のしくみ

次に、ヘルスケア事業についてご説明いたします。

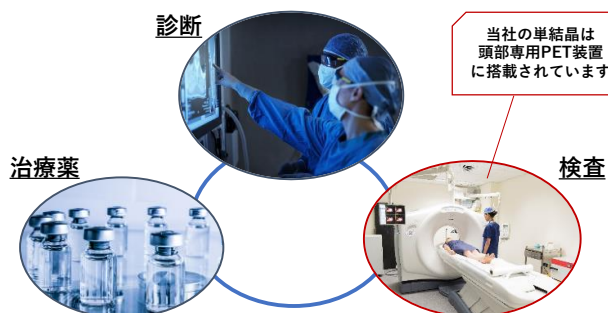
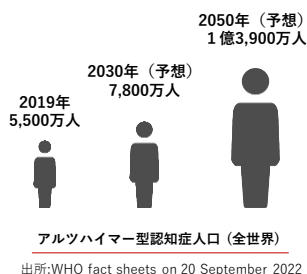
第1四半期の売上高は低調でしたが、第2四半期は持ち直し、上半期は計画を27%上回りました。

通期売上高は当初予想通りと見込んでおります。

【ヘルスケア】 頭部専用PETの動向

OXIDE

- エーザイ社のアルツハイマー型認知症治療薬「レカネマブ」を、米国では7月6日正式承認
- 日本でも9月25日に厚生労働省が承認
- 12月下旬を目途に薬価が定められる方針
- 政府有識者会議でも頭部専用PET装置の重要性を指摘
- 当社シンチレータ単結晶への引き合いが増加傾向にある



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

7

頭部専用PETの動向です。

エーザイ社のアルツハイマー型認知症治療薬「レカネマブ」は、7月にアメリカで正式承認され、日本でも9月に承認されました。

12月下旬を目途に薬価が定められる方針です。

政府有識者会議において、「投与するには事前にPETが脳脊髄液の検査でアルツハイマー病の原因物質の一つとされるアミロイドベータの蓄積を調べる必要がある。国内で検査できる施設は60カ所ほどに限られ地域にも偏りがある。」とのコメントがありました。

このため、頭部専用PETの普及が、今後加速されることが期待されます。

実際に、頭部専用PETの当社シンチレータ単結晶に対する引き合いは、今期に入り増加傾向にあります。

【新領域】 上半期実績

OXIDE

■ 2Qからライコル社の売上が新領域事業に加算され、上半期の売上高は予想を5%上回りました。

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)	24/2期 第2四半期 (6月-8月)	24/2期 上半期 (3月-8月)	24/2期 第3四半期 (9月-11月)	24/2期 第4四半期 (12月-2月)	24/2期 通期 (3月-2月)
予想	100	560	660	675	738	2,073
実績 / 見通し	96	594	690	675	738	2,103
(達成率)	96%	106%	105%	100%	100%	101%

当社取組分野

グローバルニッチマーケット

Beyond 5G 【アイソレータ単結晶】
半導体検査装置 【213nmレーザ】
放射能モニタ 【GPS単結晶】

マスマーケット

レーザー照明 【蛍光体単結晶】
MicroLED 【fsレーザ】

注力分野



パワー半導体
SiC単結晶



量子もつれ光源
モジュール

ライコル社の4事業分野



宇宙・防衛



美容



量子



エネルギー

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

8

次に、新領域事業についてご説明いたします。

3月にライコル社を子会社化し、新領域事業に、宇宙・防衛、美容、エネルギーの3つの分野が加わりました。ライコル社の売上は新領域事業に含まれております。

新領域事業の上半期売上高は、予想を5%上回りました。

新領域事業における注力分野の2つについて説明します。

まず、NEDOグリーンイノベーション補助事業で取り組んでいるパワー半導体SiC単結晶です。

これまでは名古屋大学の育成装置を用いて開発を進めてきましたが、当社内にも装置を設置し、現在10台体制となりました。今後、研究開発を加速してまいります。

次に、量子分野です。

ライコル社の素子技術と当社のモジュール実装技術を融合し、量子暗号通信での実用化が期待される「量子もつれ光源モジュール」の開発を進めております。

こちらは、10月25日から幕張メッセで実施される量子コンピューティングエキスポにて展示予定です。

なお、株主の皆様から問い合わせをいただいておりますライコル社の状況について説明します。先日10月7日に発生したハマスによるイスラエルへの攻撃から始まった武力衝突は、依然続いております。

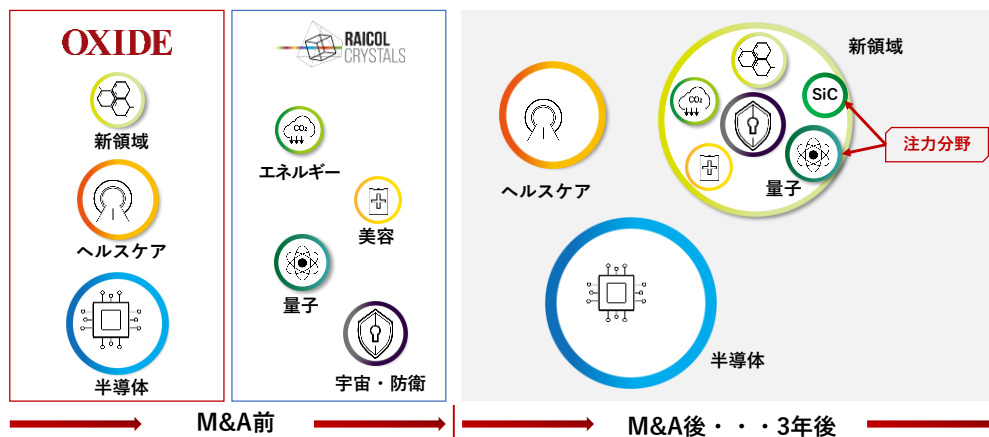
現時点ではライコル社での物的、人的損失はなく、事業は継続しております。

同社の業績に与える影響が判明次第、必要に応じて適時開示させていただきます。

【中長期事業ポートフォリオ】

OXIDE

- 既存の半導体とヘルスケア事業を拡大成長させると共に、SiCと量子分野に注力して取り組んでまいります。



中長期の事業ポートフォリオです。

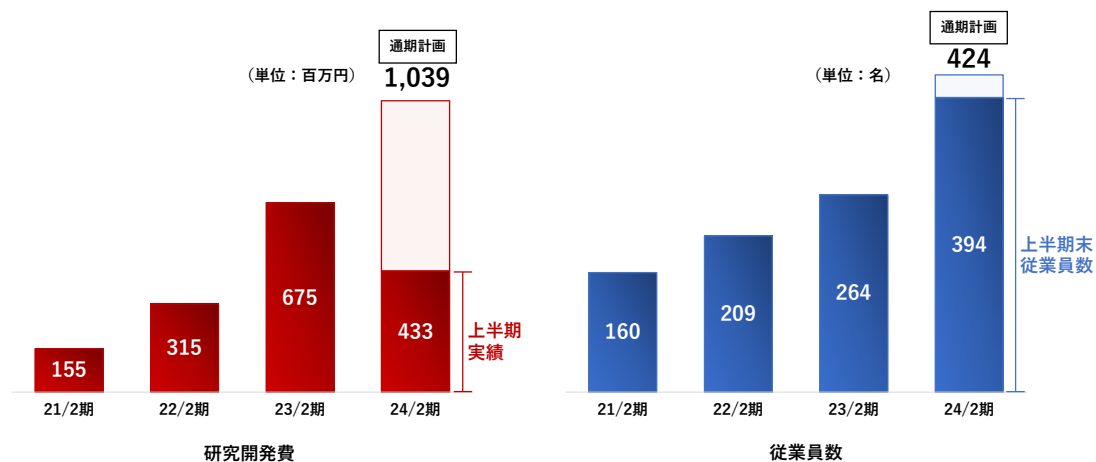
「事業計画及び成長可能性に関する事項」で4月に開示した通り、既存の半導体、ヘルスケア事業を拡大成長させてまいります。

それに加えて、新領域のSiCと量子分野に注力して取り組んでまいります。

【研究開発費・人員計画】

OXIDE

■ 次世代レーザ、SiC単結晶、量子光源モジュールの研究開発に注力しています。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

10

次に、研究開発費と人員計画です。

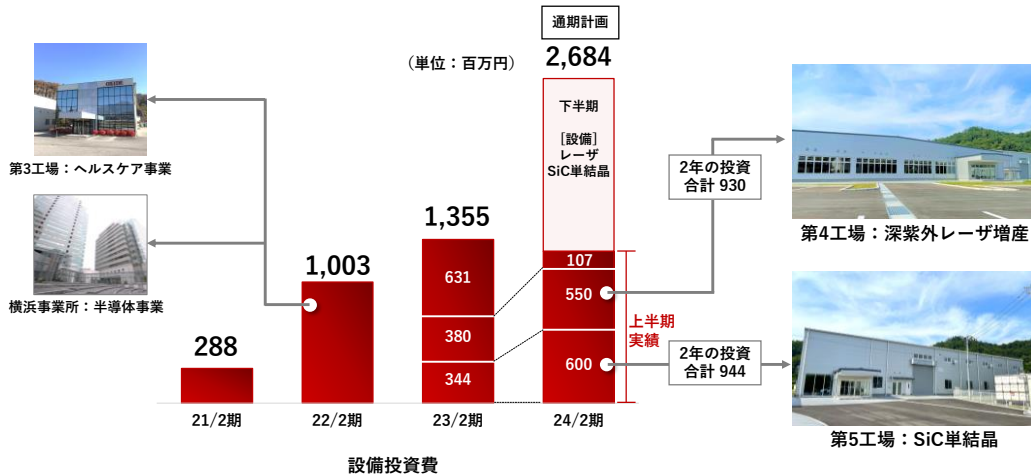
半導体事業の次世代レーザ、SiC単結晶および量子光源モジュールに、集中的に研究開発費と人員を投入しています。

研究開発費は上場した2022年2月期の約3倍に増やしております。また、従業員数は約2倍となっています。

【設備投資】

OXIDE

- 将来大きな成長が期待される分野（深紫外レーザー・SiC単結晶）に重点的に投資しています。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

11

最後に設備投資について説明します。

当社は将来、大きな成長が期待される深紫外レーザーとSiC単結晶に重点的に投資をしております。


半導体事業におけるレーザーの増産に対応する第4工場は、昨年は3億8,000万円、この上半期は5億5,000万円を投資し、第1期工事が3月に完了しました。

9月に、深紫外レーザーのメンテナンスを開始しました。

また、NEDOグリーンイノベーション補助事業で取り組んでいるSiC単結晶については、昨年3億4,400万円、この上半期は6億円を投じて第5工場を建設しました。

2022年2月期までの半導体事業とヘルスケア事業への投資が当社の成長に大きく寄与したように、今期の設備投資も着実に成果に結び付けていきたいと考えております。

引き続きよろしくごお願い申し上げます。



半導体



医療



パワー
半導体

結晶と光で社会に貢献する Crystal Miracles by OXIDE



量子



宇宙・防衛



エネルギー

ディスクレイマー

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。

当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。